

厚生労働省発薬生 0207 第 73 号
平成 30 年 2 月 7 日

薬事・食品衛生審議会会長
橋田 充 殿

厚生労働大臣 加藤 勝信

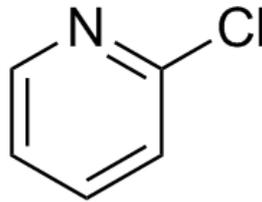
諮 問 書

下記の事項について、毒物及び劇物取締法（昭和 25 年法律第 303 号）第 23 条の 2 の規定に基づき、貴会の意見を求めます。

記

2-クロロピリジン及びこれを含有する製剤の毒物及び劇物取締法に基づく毒物の指定について

2-クロロピリジン及びこれを含有する製剤の毒物及び劇物取締法に基づく毒物の指定について



C₅H₄ClN
CAS No. : 109-09-1

名称 (英語名) 2-Chloropyridine、Alpha-Chloropyridine、o-Chloropyridine、
Pyridine, 2-chloro-
(日本語名) 2-クロロピリジン、α-クロロピリジン、o-クロロピリジン

経緯

上記化学物質は、現在、毒物又は劇物に指定されていないが、GHSで急性毒性（経口）が区分3、急性毒性（経皮）が区分2に分類され、危険物輸送に関する国連勧告で毒物に分類されており、急性毒性及び刺激性に関する有害性情報収集を実施したところ、別添の結果が得られた。

用途

ピリチオン（殺菌剤）の製造に使用。ピリプロキシフェン等の殺虫剤の製造に使用。

物理的・化学的性質

別添1を参照

毒性

別添2を参照

事務局案

2-クロロピリジン及びこれを含有する製剤については、「毒物」に指定することが適当である。

【別添 1】

物理的・化学的性質（原体）

項目	
名称	(英語名) 2-Chloropyridine (日本語名) 2-クロロピリジン
CAS 番号	109-09-1
化学式	C ₅ H ₄ ClN
分子量	113.54
物理化学的性状	
外観	ピリジン臭の無色の液体
沸点	170°C (760 mmHg)
融点	-46.5°C
密度	1.205 g/cm ³ (15°C)
相対蒸気密度	3.93 (空気=1)
蒸気圧	2.18 mmHg
溶解性	水 : 27 g/L、 オクタノール / 水 分配係数 (log P) : 1.22、 エタノール、エーテルに可溶。
引火性及び発火性	引火点 : 64°C
安定性・反応性	—
換算係数	1 mL/m ³ (1 ppm) = 4.72 mg/m ³ [1 気圧 20°C]
国連(UN)番号	2822 (2-CHLOROPYRIDINE)
国連危険物輸送分類	Class 6.1 (毒物)、Packing group (容器等級) II
EC / Index 番号	203-646-3 / —
EU GHS 分類	未収載

【別添2】

毒性（原体）

試験の種類	供試動物	試験結果	文献
急性経口毒性	ラット	LD ₅₀ : 342 mg/kg	1
急性経皮毒性	ウサギ	LD ₅₀ : < 200 mg/kg	1
急性吸入毒性 (蒸気)	ラット	LC ₅₀ : <u>≥0.472 mg/L/4hr (=100 ppm/4hr) ~</u> <u><1.18 mg/L/4hr (=250 ppm/4hr)</u>	2
刺激性	ウサギ	皮膚腐食性：なし（強度の刺激性）	3
	ウサギ	眼刺激性：重篤な損傷	4

文献

1. Wazeter, F. X. 1964. Acute Toxicity Studies in Rats and Rabbits. Report # 122-003. International Research and Development Corporation, Mattawan, MI.
2. Toxicology and Applied Pharmacology. Vol. 11, Pg. 361, 1967.
3. G. Hommel "Handbuch der gefährlichen Güter" Loseblattsammlung mit Ergänzungslieferungen ("Handbook of dangerous goods" loose-leaf collection with supplement deliveries) , Springer-Verlag, Heidelberg.
4. Study report, 1964-04-30, 1964. (REACH 登録資料より)